問題点

停電・断水

対応策

- <分包機問題>
- ・手分包の習得
- ・チャック式プチ袋を常備
- <電子天秤>
- ・アナログ天秤の準備と保有薬局の確認
- ・可能な範囲で分包品の採用
- <レセコン・電子薬歴問題>
- ・手計算の習得
- ・手書き薬袋の準備
- ・バックアップデータの持ち帰り
- ・自宅にも薬価本・薬辞典を持っておく
- <保冷>
- ・保冷剤のストック
- ・クーラーボックスの準備
- ・ドライアイス
- <断水>
- ・ポリタンクを準備し定期的に入れ替え
- ・精製水はタンクで備蓄
- ・ウォーターサーバー
- <その他>
- ・ハイブリッド車の購入
- ・バッテリーや発電機の準備
- ・太陽光発電の導入(自然エネルギー)
- ・ある程度の乾電池は常備しておく

C

災害時における各薬局の対応

問題点

通信麻痺

- ・薬剤師会会員の連絡網の確実な構築(メールアドレス含む)
- ・隣組 自治会など他集団との連絡網も必要
- ・手巻き式ラジオ購入

対応策

C

災害時における各薬局の対応

問題点

職能

対応策

- ・お薬手帳の必要性の患者への啓発
- ・紙薬歴の可能な限りの保管
- ・自分のお薬の名称を覚えてもらう(可能な方)
- ・定時薬は1個ずつサンプルとしていつも携帯するよう勧める
- ・患者のお薬をスタッフで分担して記憶する
- ・緊急時、処方せん持参出来ない場合 薬局薬剤師災害対策マニュアルP17の周知
- ・主要な薬の画像一覧準備(裸錠・PTP)
- ・緊急時に対応できるOTCの採用
- ・Drと連携して可能な限りお薬を配達する

問題点

物流麻痺

対応策

<薬保守>

- ・麻薬・向精神薬などは毎日使うものでも日々しっかり施錠管理
- ・調剤棚の転倒防止のための工夫(つかえ棒など)
- ・保管位置を浸水しても大丈夫な位置へ移動

<薬確保>

- ・近隣薬局、病院、医院の備蓄情報の開示
- ・卸担当との連絡が確保できるようにしておく
- ・日ごろの備蓄を出来る限り災害時も見据えて行う
- ・移動用の自転車・バイクの確保
- ・薬剤師会支部にて主要医薬品のストック

C

災害時における各薬局の対応

問題点

人材不足

対応策

- ・まずは薬局内での連絡網から確立しておく
- ・大雨・大雪・水害・震災 災害ケース別に出勤方法など事前話し合い
- ・会員薬局で緊急時に他薬局へ協力ができる人材の把握

C

災害時における各薬局の対応

問題点

その他

対応策

- ・行政に働きかけあらかじめ仮設薬局を設置可能な場所を話し合いで確保しておく
- ・医師会との連携
- ・青空薬局(仮設薬局建設まで)
- ・土嚢